

令和 7 年度 他機関との共同研究課題

番号	研究タイトル	研究担当者	参加 職員数	研究内容
1	千葉県海藻文化と東アジア	小川宏和（代表者）・ 島立理子・小出麻友 美・玉井里奈・猪野義 信・松田睦彦（国立歴 史民俗博物館）	5	千葉県はアサクサノリ養殖発祥の地で、昭和30年代までは東京湾一帯で海苔養殖が盛んであった。令和 5 年に千葉県登録文化財に指定された「カイソウ」は、コトジツノマタやツノマタという海藻を水で煮詰めたものを型に流し込んで固めた郷土料理で、千葉県における海と食を深く関連づけるものの一つとしてとらえられる。かつて、海岸に打ち寄せるカジメやアナアオサは畑の肥料として利用されてきた。このように、人々は海の恵みである海藻を様々な方法で利用してきた。 本研究は、国立歴史民俗博物館をはじめとした、国内外の研究者との共同研究を通して、千葉県海藻文化を東アジア文化圏の中で位置づけ、千葉の海の新たな魅力を創出するものである。